



NPO 法人ナルク茨木・摂津拠点 ナルク(NALC) 2025 年 7 月 号付録

ナルク茨木・摂津 「おしどりの会」

567-0885 茨木市東中条町 1-6 あいおいニッセイ同和損保介護研修センター3F
Tel 072-620-6088 FAX 072-620-8707 Mail: oshidori-nalc@ktb.biglobe.ne.jp
ホームページ <http://oshidori-ibaraki.com>



30 周年記念号



さくら通りの四季

茨木市長

福岡 洋一



NPO法人ナルク茨木・摂津拠点の設立30周年を心からお祝い申し上げます。

貴拠点におかれましては、平成7年の設立以来、住み慣れた街でいつまでも楽しく暮らせる生活を実現するため、地域と密着した様々な活動を展開してこられました。

「時間預託制度」を活動の軸とされ、利用者同士での助け合いの好循環を生み出すことで、子育て家事支援や、高齢者・障がい者支援、街の清掃活動といった多くの事業に活動の幅を広げられ、「自立・奉仕・助け合い・生きがい」という活動理念の実現にまい進されたこれまでの歩みは、本市の地域社会の活力向上と福祉の充実において、欠かすことのできない役割を果たされています。

また、本市の取組である「高齢者ごいっしょサービス事業」や「ひとり暮らし高齢者等日常生活支援事業」、「訪問型サービスB事業」等に対しましても、積極的に参画いただき、多大なお力添えを賜っているところです。改めまして、歴代代表をはじめ、役員並びに会員皆様方のご努力に心から敬意を表し、感謝を申し上げます次第であります。

近年の我が国における少子高齢化と人口減少の急速な進行は、近い将来、本市においても例外ではなくなるため、今後、地域社会の営みをいかにして維持し、活性化するかが大きな課題となっております。そうした中において、地域に根差した活動を進められている貴拠点の役割は、今後ますます重要になるものと考えております。

本市といたしましても、地域の課題解決に向けて施策を推し進め、「つながりを大切に、ともに支え合えるまち」を実現するため、皆様とともに、より一層、取組を進めてまいります。どうか貴拠点には、これまで培ってこられた実績を礎に、さらなる活動を展開され、本市地域福祉の増進にご助力を賜りますようお願いいたします。

結びに、NPO法人ナルク茨木・摂津拠点のますますのご発展を祈念申し上げ、お祝いのことばいたします。

摂津市長

嶋野 浩一朗



NPO法人ナルク茨木・摂津拠点の設立30周年を心からお慶び申し上げます。

貴会の皆様には、1995年7月の設立以来、「自立」「奉仕」「助け合い」「生きがい」を理念に掲げ、高齢者・障がい者の在宅介護や子育て支援、また通学路の見守りや清掃活動など、地域での奉仕活動を熱心に展開されておられますことに、深く敬意を表します。

さて、広く国内に目を向けますと、いよいよ日本は極端な少子高齢化の時代に突入してまいりました。これは国家的な課題であり、内閣府「令和6年版高齢社会白書」によると、総人口は13年連続で減少し、75歳以上の割合も過去最高の16.1%を記録するなど、我々都市部の自治体でも地域の担い手不足によるコミュニティの希薄化、社会保障費の増加など、様々な課題が徐々に表面化しております。

このような時代の流れにあって、貴会では「生涯現役」を合言葉に、会員の皆様が豊富な経験や知識を活かし、社会と人に尽くす喜びを生き甲斐と感じながら、地域の最前線に立ってご活躍されておられます。このような貴会の奉仕活動は、市政を担う私にとって大変ありがたく、心強い限りでございます。

私も市民一人ひとりの持続可能な幸福を目指すこと、すなわち「ウェルビーイング」を踏まえたまちづくりこそが大切だと心に刻み、「市民が誇りを感じて住み続けたいくなるまちづくり」に向けて、全身全霊で取り組んでいるところでございます。そのようななか、貴会はウェルビーイングに大きく寄与するご活動を日々展開されており、今後も我々行政と共に手を携えて、笑顔あふれる摂津のまちづくりにお取り組みをいただきたいと願うばかりであります。是非とも地域づくりの牽引役として、皆様方の変わらぬお力添えを賜りますよう心からお願い申し上げます。

結びに、設立30周年を契機に、貴会がさらに40周年、50周年へと大きくご発展を遂げられますよう祈念いたしますとともに、会員の皆様方のご健勝ご多幸をお祈り申し上げ、お祝いの言葉いたします。

温故知新

～古きを尋ね、新しきを創る～

ナルク本部会長 野中孝泰



ナルク茨木・摂津拠点の設立 30 周年、誠におめでとうございます。これまで大事に育ててこられた活動や会員拡大の取り組みに心からの敬意と感謝を申し上げます。

298号の会報に掲載されていました【30周年に向けてのみなさんからの一言】に『15年前ナルクのご支援がなければ私達親子は今この世に存在していません。いつも寄り添い続けて下さり有難うございます』とありました。全国津々浦々で活動されている会員の皆さんの献身的な姿を思い浮かべ胸が熱くなりました。

拠点巡回を通じ感じますことは、皆さまが本当に生き活きとされている、ナルクをとっても大事にされている、そして会員一人一人の参加と協力によって成り立っているのがナルクであるということです。

『できることを、出来る時に、出来る方法でやるのが長続きの秘訣』『人から感謝されるボランティア活動は、心を豊かにするので自分自身も健康になり、健康寿命を伸ばすことにもつながっている』『ボランティア活動することで地域との関わりが自然と増え、仲間も増えてくる』『ナルクで生きがいを見つけている』などの声にも共感しています。

一方で、『会員の減少や高齢化』『拠点代表者の高齢化や役員の担い手不足』『時間預託活動・奉仕活動の鈍化』そしてこれからのナルクを担う『新規会員の加入の鈍化』といった現実にも向き合わねばなりません。この難局を打開するため、『ナルク発展プロジェクト』が結成され数々のご提言を頂きました。一步一步着実に取り組んでまいりたいと思います。

むすびになります。ナルク発展に向けた本質的課題は『会員拡大』と『ナルクの魅力をさらに高める』ことに尽きると思います。ナルク発足の原点に立ち返り、ナルクの理念と会員同士の助け合いを支える時間預託制度を大事に、ナルク発展に向けてみんなの知恵と力を結集して参りましょう。『温故知新』には、そういう思いを含めました。茨木・摂津拠点の更なる発展をご祈念申し上げ、お祝いと激励のメッセージとさせていただきます。

来賓あいさつ文

茨木市少林寺拳法連盟

名誉会長 若林三雄

(株)利宝魚庵すし若代表取締役



NALC 茨木・摂津拠点創立30周年記念式典を開催すること心よりお喜び申し上げます。

NALC 創始者、高畑敬一先生との縁は「万法は縁により生ずる」と申しますが、私の最も尊敬する一人となり、私の人生観に大きく影響しました。

人のため、世のためボランティア活動に没頭されている後ろ姿を拝見して感動したものです。先生は、正に“超私の奉仕”の実践者であられました。

恩返しに貴拠点の立ち上げ初期に、約5年と短い期間でしたが事務所を提供できたことが少しは役に立ったと思っております。

そして、創始者の思いを受け継ぐ NALC 茨木・摂津拠点30周年、「継続は力なり」と言う通り、会員の皆様が多方面に渡り、文化的交わりを以って活動し続けられ、提供された人々から「良かった」という声が聞こえています。それは紛れもないボランティア精神に基づいた活動が証明されている証であり、この様子を確認することで一層感激しています。

また2001年からは茨木市少林寺拳法連盟と「グリーン作戦(清掃活動)」に当時の山田代表が共鳴されて協力頂き、今日まで一緒に活動できていることも嬉しい限りです。「信望は徳を得る」の言葉通り、貴拠点の活動は、地域に密着して、なくてはならない団体となっています。

人々から望まれる活動を行い、期待される団体であり続けることは、お互いが切磋琢磨し、常に喜び、喜ばれるボランティア活動に邁進されることを期待します。

終わりに NALC 茨木・摂津拠点が益々発展されることを祈願します。

歴代の代表

★1995年ナルク茨木摂津拠点を立ち上げました。

「みんな素人やから勉強会から始めよう」の方針を立て「ホームヘルパー3級講座」を企画、茨木市内の特別養護老人ホーム春日丘荘、済生会茨木病院、高槻赤十字病院、福祉施設慶徳会など地域の方々のご協力で実施出来ました。更に福祉専門の方々の入会もあり、多くの研修会が実施出来ました。



- ① 産前産後の支援、多胎児の家庭への支援
- ② 子育て支援、障がいのある子供さんの登下校の支援、子供さんの入院中の支援
- ③ 高齢者支援、認知症の方の支援
- ④ 目の不自由な方への支援、遠隔援護サポーター活動
- ⑤ 市民後見活動…など、市民の様々な困り事に対し支援活動をしてきました。

「子育ての終わった会員、定年退職した会員が積極的に社会に関わり困っている方々を支援する活動」は、これから生徒が「人生設計」をする授業の参考になると、当時の茨木高校家庭科入交先生から1年生の授業協力をして頂きたいとの申し出があり、2000年から授業協力をさせて頂いています。

「社会貢献活動」としては、「グリーン作戦(清掃活動)」を少林寺拳法連盟と共に始めて、今年まで25年やってきました。今では、市内の主だった高校を初め、各種ボランティア団体など400人を超える参加を頂いています。その結果、町がきれいになり、市長はじめ府会・市議員の方々より感謝の言葉を頂いております。

また、10年を経過したところより茨木市から政策の一端を担って頂きたいとの依頼があり、下記の内容を契約、担当しています。

- ① ごいっしょサービス(認知症の方の支援)
- ② ひとり暮らし高齢者等日常生活支援
- ③ 訪問型サービスB

立ち上げから30年色々な事がありましたが、茨木市は人口が増えている町のひとつとなり、住みよい町になったと思います。今年30周年を迎える事ができたのも、地域の皆様、会員の努力があったからと初代代表として、感謝で一杯です。

(山田 稔)

★私は現役を退いた2004年10月に入会し、未体験の会計、運営委員、副代表を経て2009年に山田初代代表が築かれた路線を引き継ぎました。特に行政や関係団体との交流・協働を深めると共に会員同士・地域住民との楽しい交流の場を増やし、明日からの活動する英気を養いお互いの絆・団結心を強くし困難と思われる利用者の要望にも知恵を出し合い工夫し、可能な限りの支援対応に努めて来ました。早朝、夜間の子どもの見守り・送迎、認知症高齢者の話し相手・送迎、ひとり暮らし高齢者への後見人活動等支援には、拠点の強みである看護・介護・薬剤・栄養等の有資格者が多く大いに貢献しています。



子育てから障がい者・高齢者まで多世代に亘って本当に困っておられる方々への支援や地域に密着した奉仕活動の取り組みが、地域に無くてはならないボランティア団体として行政に評価され、茨木市の「第1号ボランティア団体」表彰と「委託3事業」に繋がったと思います。会員も順調に増え設立時の15名から2018年には439名に、総活動時間は約1万8千となりました。

しかし予想以上の高齢化、政治の混迷や社会情勢及び個々人の価値観の変化に伴い、コロナ禍前後から当拠点運営にも深刻な課題が生じています。昨年立ち上げた小委員会で現状分析し次の主要課題について直ぐに出来ることから取り組んでいます。

- ① 活動会員の増強 ② 財政基盤の改善 ③ 事務局の強化 ④ 三役・運営委員等人材育成
- ⑤ 研修の強化 ⑥ コミュニケーションの強化

すべて拠点存続に関わる課題です。他人事と思わず全員が知恵を出し合い前向きに「30周年記念事業」に取り組み、この難局を打破して次なる35周年へと繋ぎましょう！

(池原 洋志)

★前日の強風雨から一転し見違える青空、会場の立命館いばらきキャンパスに勢揃いしたスタッフは自信に満ちた笑顔に溢れていた。この時、今日の20周年記念イベントは成功すると確信した。何もかもが初めてづくしの大行事(参加総数835人)を無事終えた充実感と喜びを今も忘れない。これは一緒に頑張ってくれたスタッフ80人全員が感じたと思う、それが嬉しい。縁あって2匹目のドジョウを求め仲間と思案の昨今である。



さてナルクの展望はと聞かれると「楽観できないが、悲観しなくていい」と思っている。今、どの団体も人材不足に悩んでいると言われる。しかし、人材は居るが上手くマッチングできていない面も大きいと思う。

①会員の基本情報・活動記録・口コミ近況情報などを充実、②これらを組合せる該当者検索ツールを活用、③やがて言葉で要求すれば AI が画面で答えてくれる、…こんな近未来を予想。一足飛びには行かない、SNSを活用し情報発信・収集の充実から始めよう。地道にコツコツと積み重ねて行こう、為せば成る。(東條 良和)

★女性が多く活動しているボランティア団体で初めての女性代表にほぼ 20 年もかかったことはまず驚きでした。大きな組織ほど、役員のほとんどが男性で占められている状況は残念なことに今も続いています。日本だけではなく世界の状況もほとんど変わりありません。



ナルクの活動会員はほぼ定年退職後や子育て終了後に入会の会員がほとんどです。仕事上での関係性やそれまでの立場に関係なく活動できる組織です。また過去の様々な経験が活かされる活動内容が多くあります。

代表の役も活動の一つだと思います。代表と言っても一人で出来る事はほぼありません。周りの人たちの協力が 9 割を占めています。私は代表の役割を「会員さんからの声の聴き役」と捉えています。必要なのは適宜なコミュニケーションだと思います。またコミュニケーション能力は鍛えれば鍛えるほど伸びるようです。

その後、女性代表が続きました。それぞれに個性を発揮されたと思います。(石田 あけみ)

★2019 年 6 月から女性 5 人で三役会の役目が始まった。わからない事ばかりで、相当期間前任者に手取り足取りして頂いた。

まずは皆さんに気軽に寄ってもらえる「ホッとできる事務所作り」を目指した。ところが、2020 年に入り2月ごろからコロナ感染症が日本中に広がりはじめた。緊急事態宣言が出ると「三密」を避けるため当拠点もバザーやクリーン作戦の中止、研修会や同好会活動も延期や中止、運営委員会も二部制で行った。そんな中でも、この年設立25周年を迎え、実行委員長のもと記念行事が進められた。外出自粛の利用者の方々に、会員の協力による手作りマスクと絵手紙など、100枚以上が届けられた。またコロナ禍の下火の時をぬって、写真展や地域交流会も成功裡に終えられた。ただ三役に対しては「黙して何もせず」との苦言もあった。



こうして役を終える年となった。目指していた「ホッとできる事務所作り」は実現できなかったと思う。(竹村 文子)

★代表になってからの一年は代表でないときとどう違うのだろうか？何もしなくてもプレッシャーで押しつぶされそうになる気持ちを顔に態度に出さないように(充分すぎるほど出していたが…)ふるまうだけでどっと疲れる毎日だった。深い知識や情報がない私は皆さんに助けてもらわないと何もできないので居直っていたが、周りの方々は何も言わず優しくフォローしてくださり、私は毎日、心で手を合わせる日々でした。



自分の人生の中で1つの良い経験になると思って引き受けましたが、荷が重い役職というのも事実です。なかなか代表になる人がいない、なりたがらないのも良くわかります。でも、誰かが代表をしないことにはいけないので一年づつ順番でやってもらいたいです。きっと良い経験になります。私ができたことなので他の人は大丈夫です。年齢は関係ないと思います。(松下 ゆり)

☆活動あれこれ（提供活動・奉仕活動）



楽しいお喋りタイム



アンファン子育て支援



今日も元気！



済生会病院



地域交流会:畑田コミセン



春日丘高校 車椅子研修



茨木高校「高齢社会を生きる」



イオンPR ハンドマッサージ



囲碁で支援



登下校の見守り

☆研 修



ヘルパー3級研修



救急救命研修



認知症サロン

☆イベント



新年会 喜怒哀家哀楽さん登場



お誕生会



仙台復興支援:植樹



総勢 260 人参加 クリーン作戦



大盛況バザー



見山へお花見会



大津祭り

☆同好会



健康マージャン 上達しました！



ドー楽園 新玉ねぎ収穫



アンチエイジングの会



絵手紙の集い



なごみの会 長居公園散策



歩楽人クラブでダムパークへ



パッチワーク 一針一針和気あいあい



お茶を楽しむ会



歌おう会 生バンドで大盛況



☆20 周年



立浪和義氏 講演



関西大倉高校 和太鼓部



故 上野博さん



☆25 周年



☆30 周年



☆文化展



利用者さんの声

★私とナルクの関わりは、利用者として、家事を助けて頂きました。

夫が脳梗塞から徐々に症状が進み、車椅子になるとトイレ介助や三食の食事介助等が必要となり、私も膝や腰を痛めました。ケアマネさんの紹介で週一回の掃除に来ていただく事になりました。老々介護の辛さを身に染みて感じていましたので、地獄に仏という気持ちで本当に助かりました。家のリフォームの際も食器の移動など助けてもらい、主婦の知恵も発揮して力強い手助けをして頂きました。また、仕事の合間のおしゃべりも、豊富な介護知識を話していただき、有益なヒントを得たりしました。気が塞ぐ日常でしたので、少しでも人と話すことで明るい気分になりました。

現在夫は施設入所となりましたが、面会が比較的自由なので、10日に一度は娘や孫達と会いに行っています。先日は孫娘の卒業式の袴姿を見せに行き、とても嬉しそうな顔に出会えました。

(宿河原 藤田美恵子)

★みきケアプランセンター 桐山氏の依頼で施術師の先生たちの送迎ドライバーをしていましたが、現在75歳、加えて脊髄の不具合があり退社、一人暮らしをしています。



昨年、包括支援センターより認定を受け、2024年からヘルパーさんやナルクの方に来ていただき、毎週何かとお世話になっております。ナルクさんには月二回食事作りをお願いしています。以前は低料金(2~2.5万円)の配食サービスを受けておりましたが、毎日同じようなメニューで飽きていました。現在は自分の好きなメニューをお願いし、味付けもよく私の口に合って美味しく頂いています。回数も月二回ですが、楽しく話もでき、一人暮らしの者にとっては待ち遠しい日々です。今後もよろしくお願いいたします。(新郡山 土谷日出彦)

★中国で父が亡くなり、家族みんなで日本に…。日本に来て40年になりますが、生活・仕事が忙しくて年月が経つのがとても速いです。日本語は難しいです。日本は分からないことが多いです。市役所・病院などでは話の内容が分からないので娘が付き添って対応してくれています。

夏は朝のラジオ体操に参加したり時間があれば緑の小径を散歩したりしています。買い物は一人で出来るけれど誰とも話さないことが多いです。

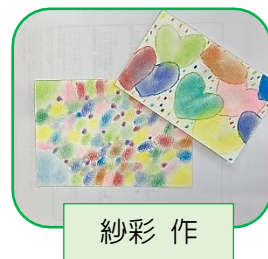
ナルクさんとは3年前から毎週1回お喋りをしたり、一緒に散歩をしたりテキストとか音楽を聴きながら日本語の勉強をしています。お誕生会・歌おう会にも参加して歌詞の文字を追って少し歌えるようになりました。文字の勉強をもっとしたい！！嬉しいし、楽しいし、これからもよろしくお願いいたします。(上中条 山田琴江)

★ナルク茨木摂津拠点「おしどりの会30周年」おめでとうございます。

思い起こせば15年前、子育て支援をお願いしたのがきっかけでした。あの時、あの頃の誠心誠意、真心のこもったご支援がなければ、私達母娘は今日、この世に存在することができなかったです。

この春、娘が中学校を卒業し、高校へ進学しました。新たな世界へ飛び立ちました。心身ともに健やかに大きく成長してくれた娘も、ナルクのご支援があったから今日の自分があることを強く感じ日々何事にも一生懸命に過ごしています。今も折に触れ、ご自分の孫同然いやそれ以上にお心を寄せて下さる会員みなさまに感謝の気持ちでいっぱいです。沢山の苦難と一緒に乗り越えて下さり今、私達母娘は笑顔の絶えない毎日です。皆様に感謝！！

(駅前 岡田早代)



紗彩 作



直近5年の拠点概況（2020年度－2024年度）

会員状況



時間預託活動



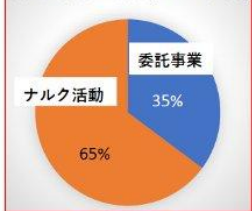
奉仕活動



茨木市委託事業(時間)



2020年度
活動時間の割合(2024年度)



同好会活動



ふるさと紹介

北海道
石田・岡

北海道

北陸
山田・上田展・牛木
小松勲・大植

中国
奥村・山近清・牧野
伊藤・吉田・武本

青森

秋田

岩手

山形

宮城

福島

石川

富山

新潟

福井

滋賀

岐阜

長野

群馬

栃木

茨城

埼玉

山梨

東京

神奈川

千葉

関東

松井・小松道

近畿

谷口・秋貞・阿部・川口・杉本
廣瀬・大谷・入江・瀬川・駒井

四国
下防・大嶋

九州

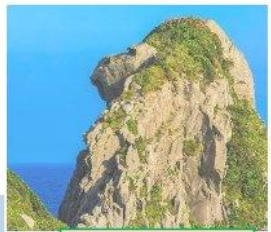
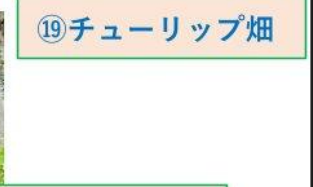
池原・伊田徳・佐藤明

長崎
佐賀
福岡
大分
熊本
宮崎
鹿児島

山口
島根
鳥取
広島
岡山
兵庫
愛媛
香川
高知
徳島

京都
大阪
奈良
三重
和歌山

沖縄

番号	ふるさと	名 前	掲載年月		
1	富山県	山田 稔	2022・3		
2	岡山県	奥村妙永子	2022・4		
3	山口県	山近清	2022・5		
4	群馬県	松井健	2022・06		
5	福井県	上田展生	2022・7		
6	兵庫県姫路市	谷口信子	2022・8		
7	新潟県	牛木紀子	2022・9		
8	鹿児島県	池原洋志	2022・10		
9	京都府	秋貞暢子	2022・12		
10	新潟県	小松励子	2022・12		
11	高知県	下防麗子	2023・1		
12	大分県	佐藤明子	2023・2		
13	島根県	牧野文恵	2023・3		
14	北海道	石田あけみ	2023・4		
15	長崎県	伊田徳子	2023・5		
16	兵庫県姫路市	阿部達美	2023・6		
17	兵庫県西宮市	駒井幸子	2023・7		
18	兵庫県神戸市	杉本政代	2023・10		
19	富山県	大植昌美	2023・12		
20	和歌山県	大谷千由子	2024・1		
21	山口県	伊藤芙美子	2024・2		
22	大阪府茨木市	川口律子	2024・4		
23	兵庫県西宮市	廣瀬美佐子	2024・9		
24	愛媛県	大嶋千鶴子	2024・10		
25	鳥取県	吉田敦子	2024・11		
26	兵庫県神戸市	入江靖子	2025・2		
27	兵庫県姫路市	瀬川美子	2025・3		
28	岡山県津山市	武本睦代	2025・4		
29	北海道	岡 玄子	2025・6		
30	東京都	小松道生	2025・7		

①曳山祭り

⑤お水送り神事

⑦白根大風合戦

⑧曾木の滝

⑩萬代橋

⑫宇佐神宮

⑬石見神楽

⑮猿石

⑰宇部ときわ公園

⑲チューリップ畑

⑳国宝投入堂

おかげさまで 30周年

会報でたどる茨木・摂津拠点の歴史			
年 月	ナルク茨木・摂津拠点の主な出来事	社会情勢	市長
1995 7	・H7. 7. 16 (1995) 設立総会 茨木市福祉文化会館 参加者約100名 ・代表 山田氏 ・事務所：茨木市西駅前6-23 (株) 利宝・魚庵すし若 事務所内 ・創刊号発行 (会員数 57人)	・阪神淡路大震災発生 ・地下鉄サリン事件発生	(茨) 山本氏 (摂) 森山氏
12	・阪神大震災ボランティア活動に5人参加		
1996 6	・初介助に興奮(燃える) いよいよ活動始まる!! ・第1回定時総会開催 ・ホームヘルパー養成研修(厚生省基準3級) 終了者3人 ・ホームヘルパー厚生省2級取得者 2人 ・8月1日事務所設置・当番常駐開始・PC導入 日本財団(船舶振興会)より援助	・若田光一 スペースシャトルで宇宙へ	
1997 7	・大阪府知事よりホームヘルパー養成研修事業(3級課程)の指定を受ける	・消費税5%に引き上げ	
9	・みんな集まれボランティア参加 ・「ボランティアに必要な知識」シリーズ(ホームヘルパー3級養成研修講座)開講	・地球温暖化京都会議	
1998 6	・事務所移転：茨木市春日1丁目2-1(株)利宝・魚庵すし若 若林三雄様方 ・組織名を【NALC】: NIPPON ACTIVE LIFE CLUBに変更 ・「日本時間預託ボランティア協会」WAC(長寿社会文化協会)と組織を分ける	・長野冬季五輪 ・明石海峡大橋開通	
1999		・介護保険制度スタート 260万人が利用 ・男女共同参画社会基本法成立	
2000 8	・茨木高校授業支援 第1回始まる (会員数 195人) ・水泳指導ボランティアに参加	・全国初の女性知事誕生 大阪府 ・新500円硬貨発行	
11	・グリーン大作戦135人(少林寺拳法73人,茨木高校同好会32人,ナルク30人)		
2001 5	・NHKの看板番組「クローズアップ現代」でナルクの活動が放映	・米国で同時多発テロ	
12	・「老人介護教室」済生会茨木病院と共催でスタート		
2002	・シニア情報誌 本部発行「アクティブらいふ」7月号からお目見え	・サッカーワールドカップ日韓大会	
2003	・会報タイトル【ナルクおしどりの会】に変更 (旧おしどりの会) ・ナルク エンディングノート 本部作成 頒布始まる ・事務所移転：茨木市春日1-12-16	・阪神タイガース18年ぶりセ・リーグ優勝 ・小惑星「はやぶさ」打ち上げ	
2004 7	・ナルク本部10周年記念 記念交流パーティ ・済生会茨木病院と病院ボランティアの共同活動スタート 登録18人		(茨) 野村氏 (摂) 森山氏
2005 7	・茨木・摂津拠点10周年記念総会 (会員数 260人) ・ナルク福祉調査センター・外部評価グループ4人参加	・JR福知山線脱線事故	
12	・事務所移転：茨木市東中条町1-6		
2006	・済生会茨木病院との第一回病院ボランティア交流会開催		
2007 4	・茨木市老人介護家族会の賛助会員に登録		
2008 5	・シニア介護サポーター養成研修始まる ・茨木市高齢者ごいっしょサービス事業委託契約を結ぶ	・後期高齢者医療制度開始	
2009 5	・ナルク本部設立15周年記念式典開催 ・代表交代(山田氏から池原氏へ)	・新型インフルエンザ流行	
9	・認知症サポーター養成講座開催		
2010 5	・茨木・摂津拠点15周年記念式典 (会員数 371人) ・上級救急救命講習会 茨木消防本部 ・高校授業協力 茨木・春日丘・三島・福井		
2011 6	・全国に先駆けて(ナルク市民後見)第1号開始 ・ナルクの活動NHKテレビで放映(15日・22日)	・東日本大震災発生	

会報でたどる茨木・摂津拠点の歴史				
年	月	ナルク茨木・摂津拠点の主な出来事	社会情勢	市長
2012	5	・第20回グリーン大作戦 茨木市長・少林寺拳法グループより感謝状を授与	・東京スカイツリー開業	(茨) 木本氏
	6	・お誕生会スタート		
2013	5	・代表交代（池原氏から東條氏へ）	・障害者総合支援法施行	
	6	・「歌おう会」発足	・富士山世界文化遺産登録	
		・茨木市ひとり暮らし高齢者日常支援委託契約を結ぶ		
2014	1	・本部主催大規模研修会（ゲスト阿川佐和子さん）	・消費税5%から8%に	(茨) 福岡氏
	4	・「絵手紙同好会」発足 第2土曜日午後	・あべのハルカス開業	
		・ブロック制スタート		
	5	・白川サロン開設		
		・本部20周年記念行事（仙台・福島で開催）に参加		
		・日帰りバスツアー（生野銀山～姫路城）		
	11	・市民活動フェスタに参加		
2015	5	・20周年記念総会・式典・懇親会開催（茨木市役所南館茨木スカイレストラン）	・北陸新幹線開業 長野～金沢	
		・代表交代（東條氏から石田氏へ）（会員数418人）		
	6	・記念イベント（立命館いばらきフューチャープラザ大ホール）		
	11	・フリーマーケット東日本復興支援		
		・「アンチエイジングの会」発足		
2016	4	・桜通りで「お花見バーベキュー」実施	・熊本地震発生	(茨) 福岡氏
	9	・茨木市総合事業研修会参加	・マイナンバー制度開始	
		・日帰りバスツアー（伊賀上野～信楽）		
		・自転車運転者研修会		
2017	2	・茨木アクティブシニアフェスタ「ナルクであなたの家族は安心」寸劇披露		
	12	・「茨木市訪問型サービスB事業」契約		(茨) 福岡氏
2018	2	・「茨木市訪問型サービスB事業」スタート		
	5	・「遠隔援護サポーター」説明会開始		
	7	・「ドー楽園」発足	・大阪北部地震発生	
	12	・「イングリッシュ・ファンクラブ」発足 第4土曜日 午後		
2019	6	・代表交代（石田氏から竹村氏へ）	・平成から令和へ元号変更	(茨) 福岡氏
			・レジ袋有料化	
			・立浪和義氏野球殿堂入り	
2020		・コロナウイルス対策 マスク作成（会員数437人）	・新型コロナ世界に蔓延	
2021	3	・グリーン作戦で茨木市市長より感謝状を授与	・大谷翔平MLBで活躍	
		・地域交流会開始	・東京夏季オリンピック	(摂) 嶋野氏
	6	・25周年記念事業		
2022	3	・コロナ対策で茨木市に寄付、茨木市市長より感謝状授与		
		・ふるさと紹介スタート		
2023	6	・代表交代（竹村氏から石田氏へ）	・日本経済悪化	
		・井戸端会議「なごみ」発足 第3土曜日午前	・人口減少と超高齢化が加速	
	7	・「健康マージャン」発足 第3土曜日午後	・阪神タイガース優勝	
		・ハンドマッサージ「ケアプランセンター喜楽」で月2回開催始まる		
		・文化展開催		
	11		・茨木市「おにクル」完成	
2024		・防災設備勉強会（岩倉公園）	・能登半島地震発生	(摂) 嶋野氏
	6	・代表交代（石田氏から松下氏へ）		
	7	・ナルク30周年ナルクピック（ナルク本部主催）参加		
2025	6	・ナルク茨木・摂津拠点30周年記念総会・式典・懇親会	・大阪関西万博開催	(摂) 嶋野氏
		・代表交代（松下氏から石田氏へ）（会員数316人）		



Nippon **A**ctive **L**ife **C**lub